

単元名 5 論理を捉えて 一 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 自分の意見を支えるための適切な根拠を選ぶことができる。
 (2) 根拠となる事実を具体的に示したり, 想定される反論に対する意見を示したりすることができる。
 (3) 粘り強く根拠の適切さを考え, 学習の見通しをもって意見文を書こうとする。

標準的な展開例

11210210_001

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 課題を決め, 分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動の目標を確認して学習の見通しをもち, 本時の学習課題をつかむ。 <p>★社会問題の中から課題を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「説得力のある意見文」を書くためのポイントを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・意見を支える根拠として, 客観的な事実を挙げる。 ・根拠と意見を結び付ける。 ・反論とそれに対する考えを示す。 ○意見文を書くための課題を社会問題の課題例から選ぶ。 ○選んだ課題についての情報を集める。 <p>○集めた情報を踏まえて, 自分の意見をもつ。</p> <p>2 立場を決めて考えをまとめ, 構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★立場を決めて考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賛成・反対の立場を決め, 意見を支える根拠を考える。 ○自分の意見や根拠に対する反論を想定する。 <p>○自分の意見や根拠に対する反論を想定する。</p> <p>○想定した反論に対して, 意見を考える。</p> <p>○構成メモを作る。</p> <p>3 意見文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★意見文にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○構成メモを基に, 600～800字程度で意見文の下書きをする。 ○下書きを推敲する。 ○清書をする。 <p>4 意見文を友達と読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★意見文を読み合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と互いの意見文を読み合う。 ○根拠の適切さについて, 説得力があると思ったところや改善点を伝え合う。 <p>○学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠の適切さを考えたか。 ・自分の意見が明確になるように, 文章の構成を工夫したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標, 学習の見通しをもとう (p.134) または, 知多の友を参考に, 意見文を書く目的や留意点を確認し, 学習全体の流れをつかませる。 ・根拠の吟味 (p.132) を参考にして, 確認する。 ・「知多の友」に書かせるとよい。 ・「情報を集め, 自分の意見を決める例」(p.134) を参考に, 決めた課題に関する情報を集めさせ, 知多の友に書き込ませる。 【評】課題についての情報を多角的な視点で集め, 書き出す活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・集めた情報の中から, 特に気になる事柄を取り上げさせ, それについてどう考えるのか, 自分の意見を一文程度の長さで簡潔にまとめて, 「知多の友」に記入させる。 ・「知多の友」に記入させる。 ・意見を導き出す基になった情報を中心に, その内容を具体的に書き出させ, 根拠を考えさせる。 ・友達同士で互いの課題について話合わせながら, 反論を予想させる。 ・反論に対する意見を書く際には, 根拠と同様に, 具体的な事実や例を示す必要があることを確認する。 【評】想定した反論に対して, 意見を考える活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・「構成のしかた」「構成メモ」(p.136) を参考に, 意見と根拠, 反論に対する意見を書く順序を考えさせる。 ・「知多の友」に書かせるとよい。 【評】下書きを推敲する活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・原稿用紙を用意する。 ・小グループで回しながら読ませる。 ・知多の友を活用し, 互いを評価し合えるようにする。 【評】友達の意見文を評価する活動を通して, 「知識・理解・技能」評価をする。 ・「つなぐ」(p.135) を読み, 学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。

【備 考】

社会生活で求められる表現は, 多くの場合, 自らの立場と, そのような立場に立つ根拠を明確にした表現であ

る。この単元では、根拠の働きに注目して、論理的な表現のあり方について学ぶことを目的とする。

また、論理的な表現では、一方的に自分の意見を述べるのではなく、他者の立場も尊重することで、多様な考え方に触れることができる。また立場の違う考え方からの反論を予想することで、論理に深みが増し、説得力も高まる。根拠の確かさとともに、そうした視点からも、論理の展開のしかたを確認させたい。

また、「根拠の適切さを考えて書こう」では、文章構成を学ぶ。自分の立場を最初に述べ、意見や根拠を述べていくことも、話合いや意見文を書くには必要なことである。

「知多の友」を使用する。